

事務事業名		シカ対策用電気柵普及事業				☐ 実施計画登載事業		☐ 合併建設計画登載事業					
政策体系	政策名	05 豊かな市民生活を実現する産業の振興				事業期間		予算科目					
	施策名	20 地域の特性を生かした農林業の振興						会計	款	項	目	事業	
	基本事業名	01 農業経営の安定化						01	06	01	08	05	
根拠法令													
所属	部課名	農林水産部 農林課				☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始 平成23 年度～) ☐ 期間限定複数年度 【計画期間】 年度 ～ 年度 ※全体計画欄の総投入量を記入							
	課長名	尾坪 明											
	係名	林業係	電話	0192-27-3111									
	担当者	古内文人	内線	7126									
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)							全体計画(※期間限定複数年度のみ)						
市内全域に及びシカ被害が増加しており、農林業被害が拡大傾向にある。市と市内の農業団体、林業団体で構成する鳥獣被害対策協議会を経由してシカ被害の軽減を図るために電気柵を設置する団体及び個人に対して、団体においては30万円、個人においては、8万円を上限として補助する事業である。 業務内容は、①電気柵を設置しようとする者から協議会への補助申請、②協議会から県及び市への補助申請、③県と市で事業の検査及び協議、④市と県から協議会へ補助の決定を通知、⑤市と県から協議会へ補助金を交付、⑥協議会から補助申請者に補助金を交付 事業費は、補助金として支出される。							総投入量 (千円)	事業費内訳	国庫支出金				
									都道府県支出金				
									地方債				
									その他				
									一般財源				
									事業費計 (A)				
人件費	正規職員従事人数												
	延べ業務時間												
	人件費計 (B)												
	トータルコスト(A)+(B)												

(1) 事務事業の目的と指標									
① 手段(主な活動) 前年度実績(前年度に行った主な活動) 電気柵を設置した個人7人に対し補助を行った。			⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)						
			名称						単位
			ア	電気柵設置距離					m
			イ	電気柵設置面積					ha
今年度計画(今年度に計画している主な活動) 電気柵を設置する団体及び個人に対し、補助を行う。			⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)						
			名称						単位
			カ	電気柵設置希望者					人・団体
			キ						
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等 シカ被害を受けている農林業者で、電気柵を必要とする人			⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)						
			名称						単位
			サ	農林業被害額					千円
			シ						
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) シカ被害による農林業作物被害の減少。			⑧ 結果指標(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか) 安定して農業を営む。						
			名称						単位
			ス						
(2) 総事業費・指標等の推移									
			年度	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(目標)	27年度(目標)	28年度(目標)
投入量	事業費	国庫支出金	千 円						
		都道府県支出金	千 円		344	305			
		地方債	千 円						
		その他	千 円						
		一般財源	千 円	230	156	195	0	0	0
	人件費	事業費計 (A)	千 円	230	500	500	0	0	0
		正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1	1
		延べ業務時間	時 間	30	50	50	50	50	50
		人件費計 (B)	千 円	120	200	200	200	200	200
		トータルコスト(A)+(B)	千 円	350	700	700	200	200	200
⑤活動指標	ア	m	3,610	4,000	4,000	4,000	4,000	4,000	
	イ	ha	9.23	10.00	10.00	10.00	10.00	10.00	
	ウ								
⑥対象指標	カ	人・団体	6	7	8	8	8	8	
	キ								
	ク								
⑦成果指標	サ	千円	2,456	2,000	1,800	1,600	1,500	1,500	
	シ								
	ス								

事務事業ID	1449	事務事業名	シカ対策用電気柵普及事業
--------	------	-------	--------------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？

シカの防護網だけでは、他の有害鳥獣の被害を軽減できないことから、平成23年度から電気柵の設置を開始した。

② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは前期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？

設置箇所をモデルとして、多くの農林業者が、自主的に電気柵を設置するようになった。

③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？

地域単位で電気柵を設置したいとの要望が出されている。

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 結びついている ⇒【理由】⇒ この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？ シカによる農作物被害が減れば農林業家の安定した農林業作物の生産及び供給に繋がり、経営の安定化に結びつく。その結果、農林業の振興が図られる。
	② 公共関与の妥当性	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 妥当である ⇒【理由】⇒ なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？ シカ被害を防止する適切な措置を講じなければ農林業収入の減少及び農林業家の生産意欲の低下に繋がるため、市において積極的に関係していかなければならない。
	③ 対象・意図の妥当性	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 適切である ⇒【理由】⇒ 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？ 対象である農林家等で電気柵を必要とする人に対し、電気柵を設置し被害の軽減を図る事業であり、対象、意図ともに適切である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地	☐ 向上余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 向上余地がない ⇒【理由】⇒ 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？ 事業の継続により、シカによる農林作物被害を受けている市民の被害軽減を図ることができることから、引続き事業を継続していく必要がある。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	☐ 影響無 ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 影響有 ⇒【その内容】⇒ 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？ 防護網、電気柵の設置など、適切な防除措置を講じなければ、シカ被害の拡大を招き、農林業収入の減少及び農林業家の生産意欲の低下に繋がり、農林業振興の妨げとなるので、廃止、中止はできない。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性	☐ 他に手段がある ⇒ (具体的な手段, 事務事業) ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】⇒ 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？ 受益者が、それぞれ必要な箇所に電気柵を設置できる事業は、本事業のみであり。他の事業との統合はできない。 ☐ 他に手段がない ⇒【理由】⇒
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】⇒ 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など) 申請を受けて県との協議により決定することから、独自の削減はできない。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】⇒ やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど) 事業の取りまとめ、交付決定の協議及び通知業務等、所要時間は適切であり、削減の余地はない。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】⇒ 事業の内容が一部の受益者に偏っていない不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？ 受益者は、事業費の1/3を負担しており、応分の負担と考えられる。農業振興を図る上で、シカ被害対策は、市の重要課題であり、市が事業費の一部を負担することは適正である。

事務事業ID	1449	事務事業名	シカ対策用電気柵普及事業
--------	------	-------	--------------

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果 (2枚目と整合を図ること) ① 目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ② 有効性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ③ 効率性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ④ 公平性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり		(2) 全体総括(振り返り、反省点) 前年度は、震災により、受付が遅れたことで申請数は少なかったが、概ね希望どおり推進してきたものと思われる。今後の推進は、農協、森林組合等を含めた県との協議により決定していく方向である。																					
(3) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可) ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統合・連携 ☒ 現状維持 事業のやり方改善 (☐ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善) (上記方向性に対する具体的な内容) 現状のまま事業を推進する計画であるが、効率性、公平性については、協議によって見直していく方向性である。個人の耕作地に電気柵を設置することで、周辺農家の被害も防げる場所等を検討し、また、地域性を生かした協力管理により、長期間の防護効果を維持する。		(4) 改革・改善による期待成果 左記(3)の改革改善案を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×
		コスト																					
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		●	×																			
	低下		×	×																			
(5) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等 申請のあった耕作地を確認し、周辺農地の所有者との協議により、設置規模の拡大を図る。																							

(職 名) ※原則として施策の主管課長		(氏 名)
2次評価者	農林課長	尾坪 明

4 事務事業の2次評価結果

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合 ①記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択) ☐ 記述不足でわかりにくい ☒ 一部記述不足のところがある ☐ 記述は十分なされている ②評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択) ☐ 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されてない) ☐ 一部に客観性を欠いたところがある ☒ 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)		(3) 評価結果の根拠と理由 ・適切な事務執行がなされている。																					
(2) 2次評価者としての評価結果 ① 目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ② 有効性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ③ 効率性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ④ 公平性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり																							
(4) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可) ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統合・連携 ☒ 現状維持 事業のやり方改善 (☐ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善) (上記方向性に対する具体的な内容) シカ被害対策の重要な柱の一つであり、現状どおり継続して事業を実施する。		(5) 改革・改善による期待成果 左記(4)により期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。また、1次評価と内容が異なる場合には、1次評価の結果も「○」で記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×
		コスト																					
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		●	×																			
	低下		×	×																			

5 最終評価結果

(1) 行政経営推進会議等での指摘事項
